

2025 年 10 月入学

2026 年 4 月入学

佐賀大学大学院
学生募集要項

農学研究科（修士課程）

推 薦 入 試

一 般 入 試

社会人特別入試

佐 賀 大 学

目 次

I	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	推薦入試	5
III	一般入試	10
IV	社会人特別入試	16
V	入学手続等	
i	入学手続	22
ii	納入金	22
iii	奨学金	22
iv	教育職員免許状	23
v	安全保障輸出管理	23
vi	障がい等のある志願者との事前相談	24
vii	出願上の留意事項	25
VI	教育研究分野等	29
VII	鹿児島大学大学院連合農学研究科（博士課程）について	33
VIII	佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内	34

個人情報取扱いについて

佐賀大学は、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人佐賀大学個人情報保護規則」等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出していただく書類に記載されているすべての個人情報は、次の業務で利用します。

- (1) 入学選抜・入学手続きに関する業務
- (2) 教務関係（学籍管理、修学指導及び教育課程の改善等）に関する業務
- (3) 学生支援関係（健康管理、入学料免除、授業料免除、入学料徴収猶予、奨学金及び就職支援等）に関する業務
- (4) 入学選抜及び大学教育の改善に関する調査・研究に関する業務（ただし、個人が特定される形で、その成果を公表することはありません。）
- (5) その他個人が特定できない形式で行う統計に関する業務
- (6) (4)及び(5)については、データの電子化、印刷、製本等の業務を業者に委託する場合があります。

なお、本学が取得した個人情報は、法令に基づく場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく上記業務以外での目的で利用又は第三者に提供する事はありません。

佐賀大学大学院への出願方法について

佐賀大学大学院では、PDFフォームを利用した願書の受付けを行っており、募集要項については、原則としてホームページで確認いただいております。

志願者の方は、出願に必要な書類を電子ファイルとして管理でき、簡単に書類を作成することができます。

●出願までの手順(概略)

○本学ホームページからPDFフォームなど必要な書類をダウンロードしてパソコンに保存してください。必要な書類については、本要項記載の「出願書類等」のページでご確認ください。

○志願票・受験票などに必要事項を入力後、印刷してください。

○検定料は、検定料振込依頼書を印刷し銀行で振込手続きを行ってください。

○印刷した出願用封筒ラベルを市販の角形2号（240×332 ミリ）の封筒に貼付し、書類一式を入れて提出してください。

なお封筒については、学務部入試課においても配布を行っています。

○出願書類は手書きでもかまいません。

*PDFフォームとは、PDFの閲覧に利用する無償のAdobe Readerで直接データを入力できるようにしたPDFです。

*Adobe Readerをお持ちでない方は、最新のプラグインを入手してください。

*A4サイズの印刷が可能なプリンタの無い方、PDFが表示されない方は本学学務部入試課へ資料請求をしてください。

I 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

農学研究科（修士課程）

【1】求める学生像

農学研究科は、農学の専門分野における知識と技術を修得し、分野の枠を超えた知識及び考え方を取り入れた、創造性豊かな優れた研究者や技術者等の高度な人材を養成することを目的とします。求める学生像は以下の通りです。

■ 生物資源科学専攻

農学を基盤とした人類の生存に必要な食料、環境、資源・エネルギー、経済・社会・文化、生命などに関わる4つの教育研究コースを擁しています。生物資源の開発と生産、農業生産環境の制御、或いは、国内外の地域産業に関わる諸分野において、その社会的要請にこたえうる高度な専門性と問題解決能力を身につけた人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 専門分野に関する基礎学力及び基礎知識を持つ人
- ② 専門分野に関する課題発見・解決能力を養うために必要な思考力・創造力・判断力を持つ人
- ③ 研究者倫理や連携研究に対し積極的に取り組める人
- ④ 異分野にも関心があり、社会貢献や国際交流にも意欲的な人

<コースの求める学生像>

1 生物科学コース

有用な動植物の育種開発ならびに生物制御機構の解明と応用を中心としたバイオサイエンスに関する知識の修得と研究を志す人

2 食資源環境科学コース

地球レベルから地域までの幅広い環境保全ならびに環境負荷の少ない農業生産環境の創造・維持に関する知識の修得と研究を志す人

3 生命機能科学コース

生命現象と遺伝機能の化学的解明ならびに生物の機能性を利活用した食品の製造・貯蔵などに関する知識の修得と研究を志す人

4 国際・地域マネジメントコース

農林水産業に関連する経済や経営管理システム、農村の社会構造と集落維持システムならびに産業・地域開発に伴う環境問題と健康問題に関する知識の修得と研究を志す人

【2】入学者選抜の基本方針

農学研究科の教育・研究理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

推薦入試

学士課程教育において優れた成績を修めた者を対象として、研究者及び技術者としての資質や能力、志望コースへの研究意欲や熱意を重点的に評価する推薦入試を行います。大学院で学ぶために必要な基礎学力、専門分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、口述試験、推薦書及び成績証明書によって評価します。また、各コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験及び推薦書によって評価します。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学院受験資格を有する全ての方を対象とした一般入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力、専門分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、外国語と専門科目に関する筆記試験及び成績証明書によって評価します。また、各コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を、面接試験と志望理由書によって評価します。

社会人特別入試

大学卒業後に社会における専門分野の職業経験を持つ方を対象とした社会人特別入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力、専門分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、研究計画書、研究業績書を踏まえた口述試験及び成績証明書によって評価します。また、各コースに対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を、面接試験と志望理由書によって評価します。

農学研究科（修士課程）で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象専攻
知識・理解・思考・判断	大学院で学ぶために必要な汎用的な基礎学力及び専門的な知識	外国語 (TOEIC のスコア) や専門科目の筆記試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	一般入試	生物資源科学専攻
		成績証明書によって、最終出身学校での学業成績、学習態度を評価します。	一般入試 推薦入試 社会人特別入試	生物資源科学専攻
		推薦書によって、在学中の成績順位や現在の評価、将来性等を参考にします。	推薦入試	生物資源科学専攻
	専門分野における学習能力や研究遂行能力	口述試験によって、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を評価します。	推薦入試 社会人特別入試	生物資源科学専攻
		研究計画書によって入学前の研究概要と入学後の研究計画を評価します。	推薦入試 社会人特別入試	生物資源科学専攻
		研究業績書によって入学前の研究実績及び研究内容を評価します。	社会人特別入試	生物資源科学専攻
興味・関心・態度・意欲	志望専攻で学ぶための明確な志望動機や入学後の意欲	面接試験と志望理由書によって、志望コースで学ぶ動機、意欲、積極性等を評価します。	一般入試 推薦入試 社会人特別入試	生物資源科学専攻

Ⅱ 推薦入試

1 趣旨

広く有能な人材を募集し、優れた研究者及び技術者を育成するため、さらに他大学からの学生受け入れによる学生交流をも促進する目的で、農学研究科修士課程に推薦入試制度を設けています。

2 募集人員

専攻	コ ー ス	教育研究分野	募集人員
			2026 年 4 月入学
生物資源科学	生 物 科 学	植物遺伝育種学、作物生態生理学、蔬菜花卉園芸学、熱帯作物改良学、植物栄養学、動物資源開発学、施設園芸学、アグリ資源開発学、動物行動管理学、機能性植物資源学、植物病制御学、線虫学、システム生態学	16 人
	食 資 源 環 境 科 学	環境土壌科学、生産地盤環境学、浅海干潟環境学、水利環境保全学、灌漑科学、地域環境学、生産環境化学、農業生産機械学、施設農業生産学、微細藻類バイオマス利用学、海洋環境学	
	生 命 機 能 科 学	機能高分子化学、応用微生物学、分子生命科学、応用藻類学、水圏生命科学、生物資源利用学、食品化学、食糧安全学、食品栄養化学、食品機能開発学	
	国際・地域マネジメント	食農ビジネス開発学、地域資源学、地域社会開発学	

3 出願資格

出願できる者は、それぞれのコースに適した専門教育を受け、学業成績、人物ともに優れ、かつ出身大学長等が責任を持って推薦できる、次の各号のいずれかに該当する者とします。

なお、合格した場合は、確実に入学できる者とします。

- (1) 2026年3月までに大学を卒業見込みの者
- (2) 短期大学又は高等専門学校の専攻科を2026年3月までに修了見込みの者で、大学改革支援・学位授与機構の取得単位に関する審査の基準を満たし、大学改革支援・学位授与機構から学位（学校教育法 第104条第7項第1号に規定する学位）を授与される見込みの者
- (3) 学校教育法第104条第7項第2号の規定により2026年3月までに学士の学位を授与される見込みの者

(参考) 学校教育法第104条第7項第2号の規定により認められている課程

- ・ 防衛大学校本科
- ・ 防衛医科大学校医学教育部医学科
- ・ 水産大学校本科
- ・ 海上保安大学校本科
- ・ 気象大学校大学部
- ・ 職業能力開発総合大学校長期課程
- ・ 国立看護大学校看護学部看護学科

4 出願期間

出願の手続きをする前に、入学後の教育・研究内容などについて、研究指導を希望する教員と相談を行ってください。

(1) 出願期間

2025 年 5 月 29 日（木）～ 6 月 5 日（木）17 時必着

入試課ホームページの「出願用封筒」に必要事項を記入し、角形 2 号の封筒に貼付し提出期間内に到着するよう「簡易書留」で郵送してください。

なお、持参の場合は、平日の 9 時から 17 時までとします。

(2) 提出先：〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学学務部入試課（地図は 34 ページ参照）

(3) 受験票等の送付

受験票は、試験日の 1 週間前までに届くように郵送します。

期日までに受験票が届かない場合は、土曜日、日曜日及び祝日を除き毎日 9 時から 17 時までの間に学務部入試課まで、お問い合わせください。

5 出願書類等（推薦入試）

下記の出願書類を入試課ホームページ(https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html)より、ダウンロードして提出してください。

区 分	備 考
入 学 検 定 料 30,000円	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 ^(注1) なお、下記（注1）の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。
検 定 料 振 込 証 明 台 紙	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。
入学志願票（様式院1-1） 履 歴 書 写 真 票（様式院2-1） 受 験 票（様式院3-1）	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書等 ^(注2)	出身大学等作成のもの ^(注3)
推 薦 書 （ 様 式 院 4 - 1 ）	本学所定の様式に出身大学長（学部長）又は学校長が推薦し厳封したものを提出してください。
志 望 理 由 書 （ 様 式 院 6 ）	本学所定の用紙を用いてください。（卒論の概要を含めて 1,000 字程度）（食資源環境科学コース、生命機能科学コース、国際・地域マネジメントコース志願者のみ）
研 究 計 画 書 （ 様 式 院 7 - 1 ）	本学所定の用紙にこれまでの研究の概要及び大学院における自己の希望する研究内容（それぞれ 1,000 字以内）を記入してください（生物科学コース、国際・地域マネジメントコース志願者のみ）。
返 信 用 封 筒	受験票を送付しますので、長形3号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、110円分切手を貼り付けてください。
住 所 届 （ 様 式 院 1 0 ）	本学所定の住所届に必要事項を記入してください。
TOEIC スコア 証明書 （公開テスト又はIPテスト）	入学試験日から2年以内に受験した TOEIC テスト（公開テスト又はIP テスト）のスコア証明書の原本を提出してください。 ^(注4) ただし TOEIC-IP テスト（オンライン版）のテスト結果については、提出を認めません。
「住民票」又は「在留カード」 または「外国人登録証明書」の 写し	○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カードの表裏両面をコピーしたものでも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。

（注1）検定料の返還請求

次の場合は、検定料の返還請求ができますので、必ず手続きをしてください。

- ① 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合
- ② 検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお、返還請求の方法等については、学務部入試課（0952-28-8178）までお問合せください。

- (注2) 合格者について、卒業見込みの者(本学出身者を除きます。)は「卒業証明書」を、出願資格(2)にかかる学位取得見込み者は、「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を卒業後速やかに提出してください。
提出先：佐賀大学学務部入試課 〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地(地図は34ページ参照)
- (注3) 出願資格(2)にかかる者のうち、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業(修了)見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。
- (注4) 出願時にTOEICテスト(公開テスト又はIPテスト)のスコア証明の原本を提出できない者は、試験日の受付時に提出してください。(試験日の受付時以外は受け付けません。)ただしTOEIC-IPテスト(オンライン版)のテスト結果については、提出を認めません。
なお、出願時にTOEICテスト(公開テスト又はIPテスト)のスコア証明書の原本を提出しておらず、かつ、試験日の受付時に提出できない場合は、失格となりますのでご注意ください。
TOEIC 公開テストのスコアについては、デジタル公式認定証のPDFをA4印刷したものを出願書類として提出できます。

災害救助法が適用されている地域で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1) 免除の対象となる者

佐賀大学の学部又は大学院に入学を志願する者のうち、災害救助法(昭和22年法律第118号)が適用されている地域で被災し、次のいずれかに該当する者

(ア)災害により、主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出の被害を受けた者

(イ)災害により、主たる家計支持者が死亡した者

2) 対象となる入学試験及び措置内容

災害が発生した後に実施する学部入試(編入学を含む)及び大学院入試に係る入学検定料を全額免除(入試成績の開示請求に係る成績通知手数料は除く。)する。

3) 免除の対象となる期間

上記2)の入学試験は当該災害が発生した年度及び翌年度までの2年間に実施予定のものとする。

4) 申請方法

申請予定者は、電話による事前審査を行いますので、出願を行う前に本学学務部入試課にご連絡の上、次の申請書類を入学者選抜試験の出願書類とともに提出してください。

(ア)検定料免除申請書

本学ホームページ「[受験生の方へ→大学院入試→募集要項](#)」からダウンロードできます。

(イ)災害証明書又は被害証明書(上記1)(ア)に該当する者)

(ウ)死亡を証明する書類(上記1)(イ)に該当する者)

出願後に免除の対象となった者には、出願年度に限り入学検定料の返還を行いますので、本学学務部入試課までご連絡ください。

6 入試方法

入学者の選抜は、専攻する専門分野の内容等について口述試験及び面接を行い、学力、面接及び提出書類を総合して判定します。

生命機能科学コースの口述試験は、これまでの研究内容およびこれからの研究プランについてのプレゼンテーションを含みます。原稿はPDFファイルとしてUSBメモリーに保存して試験当日持参してください。プレゼンテーションの際に必要な機器は、大学で準備します。

7 配点

専攻	書類審査	TOEIC	面接（口述試験を含む）	合計
生物資源科学	100	100	100	300

※成績証明書及び推薦書は面接の参考資料とします。

8 試験日時等

学力試験等日程(受験票を必ず持参してください。)

専攻	コース	試験日程	口述試験及び面接
生物資源科学	生 物 科 学	2025 年 7 月 2 日（水）	10：00～
	食 資 源 環 境 科 学		
	生 命 機 能 科 学		
	国際・地域マネジメント		

(集合時間・集合場所は、受験票送付の際に併せて通知します。)

9 合格者発表

2025 年 7 月 15 日（火）

本学ホームページに 10 時頃から合格者の受験番号を発表するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による可否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。

Ⅲ 一般入試

1 募集人員

専攻	コ ー ス	教育研究分野	募集人員	
			2025 年 10 月入学	2026 年 4 月入学
生物資源科学	生 物 科 学	植物遺伝育種学、作物生態生理学、蔬菜花卉園芸学、熱帯作物改良学、植物栄養学、動物資源開発学、施設園芸学、アグリ資源開発学、動物行動管理学、機能性植物資源学、植物病制御学、線虫学、システム生態学	若干人	16 人
	食 資 源 環 境 科 学	環境土壌科学、生産地盤環境学、浅海干潟環境学、水利環境保全学、灌漑科学、地域環境学、生産環境化学、農業生産機械学、施設農業生産学、微細藻類バイオマス利用学、海洋環境学		
	生 命 機 能 科 学	機能高分子化学、応用微生物学、分子生命科学、応用藻類学、水圏生命科学、生物資源利用学、食品化学、食糧安全学、食品栄養化学、食品機能開発学		
	国際・地域マネジメント	食農ビジネス開発学、地域資源学、地域社会開発学		

2 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

※2025年10月入学希望者は、(1)～(13)において、「2026年3月」を「2025年9月」と読み替えるものとします。

- (1) 大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満た

すものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者

- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (12) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
- (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日において満22歳に達したもの(学校教育法施行規則第155条第1項第8号)[下記の(注1)及び(注2)を参照してください。]

(注1) 出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。

(注2) 出願資格(9)、(10)、(11)、(12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。(ただし、③については出願資格(10)、(11)及び(12)による出願希望者のみ)

- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、2025年6月6日(金)までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書(様式院9-1)」に「入学試験出願資格認定審査調書(様式院9-2)」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。
なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。
- ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。
- ③ 出願資格(10)、(11)及び(12)による者で、入学試験に合格した者に対しては、2026年3月までに提出された成績証明書等により、入学資格要件(事前に本人に通知します。)を審査します。
審査の結果、入学資格要件を満たしていないと認定された者は、入学できません。

3 出願期間

出願の手続きをする前に、入学後の教育・研究内容などについて、研究指導を希望する教員と相談を行ってください。

(1) 出願期間

2025年7月16日(水)～7月23日(水)17時必着

入試課ホームページの「出願用封筒」に必要事項を記入し、角形2号の封筒に貼付し提出期間内に到着するよう「簡易書留」で郵送してください。

なお、持参の場合は、平日の9時から17時までとします。

(2) 提出先：〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課(地図は34ページ参照)

(3) 受験票等の送付

受験票は、試験日の1週間前までに届くように郵送します。

期日までに受験票が届かない場合は、土曜日、日曜日及び祝日を除き毎日9時から17時までの間に学務部入試課まで、お問い合わせください。

4 出願書類等（一般入試）

下記の出願書類を入試課ホームページ(https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html) より、ダウンロードして提出してください。

区 分	備 考
入 学 検 定 料 30,000円	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 ^(注1) なお、下記（注1）の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。
検 定 料 振 込 証 明 台 紙	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。
入学志願票（様式院1-2） 履 歴 書 写 真 票（様式院2-2） 受 験 票（様式院3-2）	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書等 ^(注2)	出身大学等作成のもの ^(注3)
志 望 理 由 書 （ 様 式 院 6 ）	本学所定の用紙を用いてください。（卒論の概要を含めて 1,000 字程度）
出 願 承 認 書 （ 様 式 院 5 ）	本学所定の用紙を用いてください。（ただし、在職中の者に限ります。）
返 信 用 封 筒	受験票を送付しますので、長形3号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、110円分切手を貼り付けてください。
住 所 届 （ 様 式 院 1 0 ）	本学所定の住所届に必要事項を記入してください。
TOEIC スコア 証 明 書 （公開テスト又はIPテスト）	入学試験日から2年以内に受験した TOEIC テスト（公開テスト又はIP テスト）のスコア証明書の原本を提出してください。 ^(注4) ただし TOEIC-IP（オンライン版）のテスト結果については、提出を認めません。
「住民票」又は「在留カード」 または「外国人登録証明書」の 写し	○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カードの表裏両面をコピーしたものでも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。

（注1）検定料の返還請求

次の場合は、検定料の返還請求ができますので、必ず手続きをしてください。

- ① 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合
- ② 検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお、返還請求の方法等については、学務部入試課（0952-28-8178）までお問合せください。

（注2）合格者について、卒業見込みの者（本学出身者を除きます。）は「卒業証明書」を、出願資格(2)にかかる学位取得見込み者は、「学位記」の写し又は「学位授与証明書」を卒業後速やかに提出してください。

提出先：佐賀大学学務部入試課 〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地（地図は34ページ参照）

- (注3) 出願資格(2)にかかる者のうち、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科等を卒業（修了）見込みの者については、学士の学位の授与申請予定証明書を添付してください。
- (注4) 出願時に TOEIC テスト（公開テスト又は IP テスト）のスコア証明書の原本を提出できない者は、試験日の受付時に提出してください。（試験日の受付時以外は受け付けません。）ただし TOEIC-IP テスト（オンライン版）のテスト結果については、提出を認めません。
- なお、出願時に TOEIC テスト（公開テスト又は IP テスト）のスコア証明書の原本を提出しておらず、かつ、試験日の受付時に提出できない場合は、失格となりますのでご注意ください。
- TOEIC 公開テストのスコアについては、デジタル公式認定証の PDF を A4 印刷したものを出願書類として提出できます。

災害救助法が適用されている地域で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1) 免除の対象となる者

佐賀大学の学部又は大学院に入学を志願する者のうち、災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用されている地域で被災し、次のいずれかに該当する者

(ア) 災害により、主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出の被害を受けた者

(イ) 災害により、主たる家計支持者が死亡した者

2) 対象となる入学試験及び措置内容

災害が発生した後に実施する学部入試（編入学を含む）及び大学院入試に係る入学検定料を全額免除（入試成績の開示請求に係る成績通知手数料は除く。）する。

3) 免除の対象となる期間

上記2)の入学試験は当該災害が発生した年度及び翌年度までの2年間に実施予定のものとする。

4) 申請方法

申請予定者は、電話による事前審査を行いますので、出願を行う前に本学学務部入試課にご連絡の上、次の申請書類を入学者選抜試験の出願書類とともに提出してください。

(ア) 検定料免除申請書

本学ホームページ「[受験生の方へ→大学院入試→募集要項](#)」からダウンロードできます。

(イ) 被災証明書又は被害証明書（上記1）(ア)に該当する者）

(ウ) 死亡を証明する書類（上記1）(イ)に該当する者）

出願後に免除の対象となった者には、出願年度に限り入学検定料の返還を行いますので、本学学務部入試課までご連絡ください。

5 入試方法

入学者の選抜は、筆記試験、面接及び提出書類を総合して判定します。

① 筆記試験

専門科目・・・○生物科学コース

各自の志願する教育研究分野(次表参照)の問題

○食資源環境科学コース

各自の志願する教育研究分野(次表参照)の問題

○生命機能科学コース

各自の志願する教育研究分野(次表参照)の問題及び基礎的化学の問題

○国際・地域マネジメントコース

各自の志願する教育研究分野(次表参照)の問題

専攻	コ ー ス	教育研究分野
生物資源科学	生 物 科 学	植物遺伝育種学、作物生態生理学、蔬菜花卉園芸学、熱帯作物改良学、植物栄養学、動物資源開発学、施設園芸学、アグリ資源開発学、動物行動管理学、機能性植物資源学、植物病制御学、線虫学、システム生態学
	食 資 源 環 境 科 学	環境土壌科学、生産地盤環境学、浅海干潟環境学、水利環境保全学、灌漑科学、地域環境学、生産環境化学、農業生産機械学、施設農業生産学、微細藻類バイオマス利用学、海洋環境学
	生 命 機 能 科 学	機能高分子化学、応用微生物学、分子生命科学、応用藻類学、水圏生命科学、生物資源利用学、食品化学、食糧安全学、食品栄養化学、食品機能開発学
	国際・地域マネジメント	食農ビジネス開発学、地域資源学、地域社会開発学

② 面接 コース別に行います。

6 配点

専攻	筆記試験	面接	TOEIC	合計
生物資源科学	100	100	100	300

※提出書類は面接の参考資料とします。

7 試験日時等

学力試験等日程(受験票を必ず持参してください。)

2025年8月22日(金)

(集合時間・集合場所は、受験票送付の際に併せて通知します。)

専攻	筆記試験 (専門科目)	面接
生物資源科学	10:00～12:00	13:00～

8 合格者発表

2025年9月9日(火)

本学ホームページに10時頃から合格者の受験番号を発表するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による可否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。

9 追加合格

入学辞退等により欠員が生じたときは、欠員を補充するため追加合格を実施する場合があります。実施する場合は、2025年9月末頃、合格者に対し電話により合格の連絡及び入学意思の確認を行います。連絡を受けた者は、速やかに入学意思の有無を決定の上、本学へ電話で連絡してください。

10 第2次募集

実施の有無及び詳細については、10月上旬に本学ホームページにてお知らせします。

IV 社会人特別入試

1 趣旨

科学技術の進歩、社会の複雑化のなかで社会人の学修希望が高まり、再教育に対するニーズが高まっています。

本学大学院においては、大学卒業後、社会経験を経た人を受け入れて、大学学部より高度の研究活動を行い、開かれた大学院として社会に役立つ研究と技術開発の推進を図り、あわせて、生涯教育に寄与しようとするものです。

この選抜により入学した者に対しては、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。＜21ページ参照＞

2 募集人員

専攻	コ ー ス	教育研究分野	募集人員	
			2025 年 10 月入学	2026 年 4 月入学
生物資源科学	生 物 科 学	植物遺伝育種学、作物生態生理学、蔬菜花卉園芸学、熱帯作物改良学、植物栄養学、動物資源開発学、施設園芸学、アグリ資源開発学、動物行動管理学、機能性植物資源学、植物病制御学、線虫学、システム生態学	若干人	若干人
	食 資 源 環 境 科 学	環境土壌科学、生産地盤環境学、浅海干潟環境学、水利環境保全学、灌漑科学、地域環境学、生産環境化学、農業生産機械学、施設農業生産学、微細藻類バイオマス利用学、海洋環境学		
	生 命 機 能 科 学	機能高分子化学、応用微生物学、分子生命科学、応用藻類学、水圏生命科学、生物資源利用学、食品化学、食糧安全学、食品栄養化学、食品機能開発学		
	国際・地域マネジメント	食農ビジネス開発学、地域資源学、地域社会開発学		

3 出願資格

次のいずれかに該当する者で、2年以上（入学する月（4月）の前までの間）官公庁、企業又は教育機関等の現業に従事している者又は従事した者としてします。

なお、合格者のうち「2年以上」という要件を入学する月（4月）の前で満たした者については、入学時にその旨の証明書を提出してください。その時点でこの要件を満たしていないことが判明した場合は入学を取り消します。

※2025年10月入学希望者は、(1)～(13)において、「2026年3月」を「2025年9月」と読み替えるものとします。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
 - (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者させる大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
 - (10) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
 - (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
 - (12) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者[下記の(注2)を参照してください。]
 - (13) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日において満22歳に達したもの(学校教育法施行規則第155条第1項第8号)[下記の(注1)及び(注2)を参照してください。]
- (注1) 出願資格(13)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。
- (注2) 出願資格(9)、(10)、(11)、(12)及び(13)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。
- ① 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、2025年6月6日(金)までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書(様式院9-1)」に「入学試験出願資格認定審査調書(様式院9-2)」及び出願資格認定申請書に記載している提出書類を添付して申し出てください。
なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類等を求めることがあります。
 - ② 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。

4 出願期間

出願の手続きをする前に、入学後の教育・研究内容などについて、研究指導を希望する教員と相談を行ってください。

(1) 出願期間

2025 年 7 月 16 日（水）～ 7 月 23 日（水） 17 時必着

入試課ホームページの「出願用封筒」に必要事項を記入し、角形 2 号の封筒に貼付し提出期間内に到着するよう「簡易書留」で郵送してください。

なお、持参の場合は、平日の 9 時から 17 時までとします。

(2) 提出先：〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学学務部入試課（地図は 34 ページ参照）

(3) 受験票等の送付

受験票は、試験日の 1 週間前までに届くように、郵送します。

期日までに受験票が届かない場合は、土曜日、日曜日及び祝日を除き毎日 9 時から 17 時までの間に学務部入試課まで、お問い合わせください。

5 出願書類等（社会人特別入試）

下記の出願書類を入試課ホームページ(https://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html) より、ダウンロードして提出してください。

区 分	備 考
入 学 検 定 料 30,000円	本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 ^(注) なお、下記（注）の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。
検 定 料 振 込 証 明 台 紙	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。
入学志願票（様式院1－3） 履 歴 書 写 真 票（様式院2－3） 受 験 票（様式院3－3）	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。
成 績 証 明 書	最終出身学校の成績証明書
卒 業（修了）証明書等	最終出身学校の卒業（修了）証明書等
志 望 理 由 書 （ 様 式 院 6 ）	本学所定の用紙を用いてください。
研 究 計 画 書 （ 様 式 院 7 － 1 ）	本学所定の用紙にこれまでの研究の概要及び大学院における自己の希望する研究内容（それぞれ1,000字以内）を記入してください。
研 究 業 績 書 （ 様 式 院 7 － 2 ）	研究論文、技術報告書、特許、実用新案、卒業研究報告書等本人の業績又は業績内容を示すもの。本学所定の用紙を用いてください。
出 願 承 認 書 （ 様 式 院 5 ）	本学所定の用紙を用いてください。
返 信 用 封 筒	受験票を送付しますので、長形3号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、110円分切手を貼り付けてください。
住 所 届 （ 様 式 院 1 0 ）	本学所定の住所届に必要事項を記入してください。
「住民票」、「在留カード」または「外国人登録証明書」の写し	○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カードの表裏両面をコピーしたものでも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。

（注）検定料の返還請求

次の場合は、検定料の返還請求ができますので、必ず手続きをしてください。

- ① 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合
- ② 検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合
- ③ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

なお、返還請求の方法等については、学務部入試課（0952-28-8178）までお問合せください。

災害救助法が適用されている地域で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1) 免除の対象となる者

佐賀大学の学部又は大学院に入学を志願する者のうち、災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用されている地域で被災し、次のいずれかに該当する者

（ア）災害により、主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出の被害を受けた者

（イ）災害により、主たる家計支持者が死亡した者

2) 対象となる入学試験及び措置内容

災害が発生した後に実施する学部入試（編入学を含む）及び大学院入試に係る入学検定料を全額免除（入試成績の開示請求に係る成績通知手数料は除く。）する。

3) 免除の対象となる期間

上記2)の入学試験は当該災害が発生した年度及び翌年度までの2年間に実施予定のものとする。

4) 申請方法

申請予定者は、電話による事前審査を行いますので、出願を行う前に本学学務部入試課にご連絡の上、次の申請書類を入学者選抜試験の出願書類とともに提出してください。

（ア）検定料免除申請書

本学ホームページ「[受験生の方へ→大学院入試→募集要項](#)」からダウンロードできます。

（イ）り災証明書又は被害証明書（上記1）（ア）に該当する者）

（ウ）死亡を証明する書類（上記1）（イ）に該当する者）

出願後に免除の対象となった者には、出願年度に限り入学検定料の返還を行いますので、本学学務部入試課までご連絡ください。

6 入試方法

入学者の選抜は、口述試験・面接及び提出書類を総合して判定します。

7 配点

専攻	面接	合計
生物資源科学	100	100

※提出書類は面接の参考資料とします。

8 試験日時等

学力試験等日程(受験票を必ず持参してください。)

2025年8月22日(金)

(集合時間・集合場所は、受験票送付の際に併せて通知します。)

専攻	コース	口述試験・面接
生物資源科学	生物科学	13:00～
	食資源環境科学	
	生命機能科学	
	国際・地域マネジメント	

※コース別に行います。

9 合格者発表

2025年9月9日(火)

本学ホームページに10時頃から合格者の受験番号を発表するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による可否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。

10 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について

(1) 教育方法の特例

本研究科では、修学を希望する社会人に対して、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用した「夜間の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法」による教育を実施しています。社会人学生は、指導教員と相談のうえ、授業及び研究指導を夜間の時間又は時期に受けることができます。

(2) 長期履修制度

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限(修士課程2年)を越えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。

V 入学手続等

i 入学手続

入学手続きはオンラインにより行います。

入学手続きの方法等については、合格通知書を送付する際に手続きに関するお知らせを同封しますので、必ず確認してください。

手続期間：2025年9月12日（金）～9月19日（金）

※期間内に入学手続きをしなかった者は、入学辞退者とします。

ii 納入金

入学料：282,000円（入学手続時に納入してください。）

授業料：267,900円（前期・後期）〔年額535,800円〕

※この金額は、2025年4月現在のものです。

（留意事項）

（1）入学時又は在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定後の入学料及び授業料を納入していただくことになります。

なお、合格通知書送付の際、納入方法等改めてお知らせします。

（2）授業料は、入学手続時に納入する必要はありません。納入予定期間は、下記の通りです。（入学後に付与される学籍番号が必要となります。）

【2025年 10月入学】 2025年 10月1日～11月30日

【2026年 4月入学】 入学式～5月31日

（3）納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

（4）入学料の免除及び徴収猶予ならびに授業料の免除については、合格者に送付する関係書類を熟読の上、学生生活課に申し出てください。

なお、入学料免除及び徴収猶予の申請をした者で、入学を辞退する場合は入学料の全額を納付してください。

iii 奨学金

（1）学業優秀で、経済的な理由により修学が困難な学生の皆さんのために奨学金制度が準備されています。

① 日本学生支援機構奨学金

・ 第一種奨学金（無利子）

貸与月額 50,000円又は88,000円

・ 授業料後払い制度（無利子）

授業料支援金 上限額 年間535,800円

生活費奨学金 貸与月額 20,000円又は40,000円

・ 第二種奨学金（有利子）

貸与月額 50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

② その他の奨学金

この他に地方公共団体及び民間育英団体等の奨学金制度があります。詳しくは、次の問い合わせ先にお尋ねください。

(2) 奨学金に関する問い合わせ先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部学生生活課 奨学金担当
TEL 0952-28-8172

iv 教育職員免許状

取得できる専修免許状は、下表「取得できる教育職員免許状」のとおりです。ただし、専修免許状の所要資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状(中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状については、その免許教科)の一種免許状を有することが必要です。

取得できる教育職員免許状

専攻	取得できる専修免許状	
	種類	教科
生物資源科学専攻	中学校教諭専修免許状	理科
	高等学校教諭専修免許状	理科、農業

v 安全保障輸出管理

佐賀大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人佐賀大学安全保障輸出管理規程」「国立大学法人佐賀大学安全保障輸出管理実施細則」を定め、輸出管理を行っています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。

また、外国人留学生を通じた技術・貨物の流出を防止する目的で、受け入れる外国人留学生に対して、入学時に誓約書の署名・提出をお願いしています。

<https://www.irdc.saga-u.ac.jp/foreignstudent/securityexportcontrol/>

vi 障がい等のある志願者との事前相談

障がい等のある志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、本学ホームページ「[受験生の方へ→大学院入試→募集要項](#)」から「障がい等のある志願者による事前相談申請書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、必要書類を添えて学務部入試課に送付し相談してください。

なお、本学では、ウェルビーイング創造センター学修支援部門を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

* 必要書類

○医師の診断書

* 相談の期限

出願開始日の1週間前まで

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合があります。

視力障がい、聴力障がい、運動機能障がい(肢体不自由)、その他の障がいを有する者は、実験実習を伴うコースでは修学上支障をきたすこともありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に不慮の事故等により受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、その時点で速やかに相談してください。

* 受験上の配慮の一例

- 試験時間の延長
- 1階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験
- 多目的トイレに近い試験室で受験
- 座席を最前列／最後列／出入口付近等に指定
- 別室の設定
- 補聴器又は人工内耳の装用
- 特製机・椅子の持参使用
- 車椅子の持参使用
- 杖の持参使用
- 拡大文字問題冊子の配付
- 注意事項等の文書による伝達
- 試験場への乗用車での入構
- 試験室入口までの付添者の同伴

vii 出願上の留意事項

- (1) 入学志願票の記入事項及び書類等の不備のものは受け付けません。
- (2) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記入事項及び書類の変更は認めません。
また、既納の入学検定料は一切返還しません。

- (3) 出願に関する問い合わせ先

〒840－8502 佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学学務部入試課

TEL 0952－28－8178

入学志願票等の記入上の注意及び記入例

- (1) 入学志願票等の記入に当たっては、募集要項を熟読の上、必ず志願者本人が記入してください。
- (2) ※印欄は、記入しないでください。
- (3) 入学志願票・受験票・写真票の希望する入学年月を記入してください。

(記入例)

「志望研究科、専攻、分野・コース、分野」の欄

志望研究科、専攻、 分野・コース、分野		コード (第4表参照)		
農学	研究科	2	4	
生物資源科学	専攻	Q	D	A
生物科学	分野・ コース			
熱帯作物改良学	分野			

- 分野・コース及び分野まで記入してください。
- コードは(第4表)を参照し、1コマずつ、正確に記入してください。
- 常用漢字で記入してください。(JIS 漢字コードの第1・第2水準以外を含む場合、その文字が置き換えられることがあります。)

【置き換えられる文字の例】

高 → 高 崎 → 崎 桑 → 桑
土 → 土 吉 → 吉 原 → 原

「氏名」の欄

漢字(アルファベット)氏名	佐	賀		太	郎								
フリガナ (カタカナ)	サ	ガ		タ	ロ	ウ							

「性別」及び「生年月日」の欄

性別		生年月日							
男	女	西暦 年				月		日	
✓		2	0	0	3	0	9	1	7

- 性別は、該当する箇所に✓を入れてください。
- 生年月日で、月及び日が1ケタの場合は右づめとし、1コマ目は「0」を記入してください。

「出身県等」、「留学生」及び「出身学校等」の欄

出身県等		留学生			選抜 種別	出身学校等							
第1表 参照		国・地域 第2表参照				第3表参照	卒業年月等						
							西暦 年				月		
4	1				1	3	4	2	0	2	6	0	3

- 出身県等は、(第1表)により、コード番号を1コマ1ケタずつ、正確に記入してください。
- 留学生は、(第2表)により、コード番号を1コマ1ケタずつ、正確に記入してください。
- 出身学校等は(第3表)により、コード番号を1コマ1ケタずつ、正確に記入し、卒業等年月(見込を含みます。)を西暦で記入してください。

「現住所及び連絡先等」の欄

● 本学から出願書類等について連絡する場合もあるので、正確に記入してください。

なお、メールアドレスについては、大学のメールアドレス【例：学籍番号@・・・】ではなく個人のメールアドレスを記入してください。

出願後、この欄に変更があった場合は電話連絡するとともにハガキ等でもお知らせください。

(連絡先) 〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部入試課

TEL 0952-28-8178

※保護者等とは、本人以外の連絡が取れる家族等を指します。

「住所届」

● 合格通知書は、これに記載された現住所に送付するので、正確に記入してください。

なお、出願後、住所に変更があった場合は電話連絡するとともにハガキ等でもお知らせください。

(第1表) 都道府県等コード

北海道	01	埼玉県	11	岐阜県	21	鳥取県	31	佐賀県	41
青森県	02	千葉県	12	静岡県	22	島根県	32	長崎県	42
岩手県	03	東京都	13	愛知県	23	岡山県	33	熊本県	43
宮城県	04	神奈川県	14	三重県	24	広島県	34	大分県	44
秋田県	05	新潟県	15	滋賀県	25	山口県	35	宮崎県	45
山形県	06	富山県	16	京都府	26	徳島県	36	鹿児島県	46
福島県	07	石川県	17	大阪府	27	香川県	37	沖縄県	47
茨城県	08	福井県	18	兵庫県	28	愛媛県	38		
栃木県	09	山梨県	19	奈良県	29	高知県	39		
群馬県	10	長野県	20	和歌山県	30	福岡県	40	外国	99

(第2表) 国・地域コード

パキスタン	101	大韓民国	113	トルコ	202	ウガンダ	312	オランダ	710
インド	102	モンゴル	114	イスラエル	203	エチオピア	320	ドイツ	711
ネパール	103	ベトナム	115	ミャンマー	204	オーストラリア	401	フランス	712
バングラデシュ	104	中華人民共和国	116	バーレーン	215	ニュージーランド	402	スペイン	713
スリランカ	105	カンボジア	117	エジプト	301	カナダ	501	イタリア	715
ミャンマー	106	ブータン	118	スーダン	302	アメリカ合衆国	502	ポーランド	721
タイ	107	ラオス	119	リビア	303	ドミニカ	607	チェコ	722
マレーシア	108	ブルネイ	120	ケニア	307	ブラジル	608	ハンガリー	723
シンガポール	109	マカオ	121	タンザニア	308	ホンジュラス	618	ブルガリア	726
インドネシア	110	台湾	122	コンゴ	309	パナマ	619	スロバキア	732
フィリピン	111	朝鮮民主主義人民共和国	191	ナイジェリア	310	イギリス	707	ウズベキスタン	734
香港	112	イラン	201	ガーナ	311	ルクセンブルク	709	その他	801

(第3表) 出身学校等

佐賀大学（文化教育学部、教育学研究科）	3 1	大学（国内）	2 2	高等専門学校専攻科	2 4
佐賀大学（経済学部、経済学研究科）	3 2	大学（国外）	2 3	短期大学専攻科	2 5
佐賀大学（理工学部、理工学研究科）	3 3			個別審査	2 6
佐賀大学（農学部、農学研究科）	3 4			専修学校	2 7
佐賀大学（医学部、医学系研究科）	3 5			その他	2 9
佐賀大学（教育学部、学校教育学研究科）	3 6				
佐賀大学（芸術地域デザイン学部、 地域デザイン研究科）	3 7				
佐賀大学（先進健康科学研究科）	3 8				

(第4表) 研究科、専攻、コース・専修コード

研究科コード		専攻、コース・専修コード			
農学研究科	2 4	生物資源科学専攻	生物科学コース		QDA
			食資源環境科学コース		QDB
			生命機能科学コース		QDC
			国際・地域マネジメントコース		QDD

VI 教育研究分野等

〈コースの内容〉

専攻	コース	コースの内容
生物資源科学専攻	生物科学コース	広範な生物資源の探索と機能解析、有用生物の育種開発、生態系における生物制御機構の解析、バイオテクノロジーによる新素材の開発等、バイオサイエンスに関する総合的かつ実践的な教育研究を行う。本コースにおける生物機能解析の対象は、遺伝子・細胞・代謝レベルから、生態系における個体レベルまで幅広く、生命・食糧・健康・環境等さまざまな分野の学術と産業発展を先導する先端的な内容である。
	食資源環境科学コース	地球レベルから地域レベルに至るまでの様々なスケールで生じている環境問題に対処するため、環境に負荷の少ない生物生産環境の創出・保全と豊かな生活環境の創造に関する教育研究を行う。 また、自然科学並びに情報科学の理論と技術を用いた環境に配慮した持続的な手法と高度な管理システムを創造し、地域の農業生産性を高める実践研究を行うと同時に、世界的な食料・環境及び資源循環の問題解決に寄与する教育研究を行う。
	生命機能科学コース	微生物から高等動植物にわたる多様な生物を対象として、その生命現象と遺伝機能を化学的に解明するための基礎的な教育と研究を行うとともに、生物の特異的な機能を有効に利用して有用物質を生産する方法の開発と、バイオテクノロジーの手法を用いた生物機能の改良を行う。 また、生物資源の持つ機能を食品生化学的・栄養生理学的に究明して、機能性食品及び医薬品への応用を目指すとともに、新しい食品加工・貯蔵技術及び食品素材の開発や食品の安全性に関する教育研究を行う。
	国際・地域マネジメントコース	日本を含むアジア・太平洋諸地域における①農林水産資源の循環的利用システムと農林水産業関連ビジネスの開発、②地域資源の持続可能な開発と利用システム、③諸民族・地域社会における人間と環境との諸関係、及び④環黄海・対馬海峡沿岸の半島・島嶼地域に関するフィールドワーク（実態調査）に基づき、持続可能な循環型地域社会及びその構築方策について実証的に教育研究を行う。

生物資源科学専攻

〈教育研究分野の内容〉

コース	教育研究分野	分 野 の 内 容
生物科学	植 物 遺 伝 育 種 学	高等植物の遺伝理論及び突然変異遺伝子組換え技術等を利用した優良品種の開発について教育・研究を行う。
	作 物 生 態 生 理 学	有用土壌微生物である根粒菌や菌根菌と高等植物との共生関係成立機構に関する基礎的な研究を推進するとともに、それを作物生産へ応用することを目指した教育・研究を行う。
	蔬 菜 花 卉 園 芸 学	高等植物の生殖生理を基礎とした種苗の生産技術の開発について教育・研究を行う。また、植物の系統進化、植物と菌類との菌根共生系の解明と野生植物の保全について教育・研究を行う。
	熱 帯 作 物 改 良 学	熱帯及び亜熱帯作物の生産力向上のための栽培条件及び品種能力の改良について教育・研究を行う。
	動 物 資 源 開 発 学	産業動物における繁殖生理に関する基礎研究を行うとともに、その成果を繁殖技術へ応用することを目指した教育・研究を行う。
	施 設 園 芸 学	作物生産にとって最適な環境とは何か？園芸施設を有効に活用するためにはどのような植物の形質が必要か？を明らかにし、それらの知見を基礎にした施設園芸技術の発展を目指す。
	植 物 栄 養 学	植物が多様な土壌環境に適応する仕組みを明らかにするとともに、植物の栄養に関する様々な課題を解決し、持続的な食糧生産に貢献することを目指した教育と研究を行う。
	ア グ リ 資 源 開 発 学	農業遺伝資源を活用した新品種の開発や栽培方法の確立について教育・研究を行う。
	動 物 行 動 管 理 学	ヒトと動物の関係および飼育動物のアニマルウェルフェア（動物福祉）に関する教育・研究を行う。また、限られた環境で生活している家畜のストレスケアに関する研究を行う。
	機 能 性 植 物 資 源 学	薬用・機能性作物、野生遺伝資源を材料に新品種の育成や栽培・加工・貯蔵技術の確立を行う。これらの原料を用いた機能性食品・化粧品の開発に関する実践的な研究も行う。
	植 物 病 制 御 学	植物と病原菌の遺伝的相互作用・発病機構の解明と発病制御並びに植物病原系状菌の生態・進化の解明について教育・研究を行う。
	線 虫 学	昆虫病原性線虫及び菌食性線虫の生理生態並びに利用と、植物寄生性線虫の制御について教育・研究を行う。
	シ ス テ ム 生 態 学	昆虫と植物を主対象として、生物多様性の創出・維持機構、生物における生態学的諸特性の解明、および、生物群集のシステム解析について教育・研究を行う。

コース	教育研究分野	分 野 の 内 容
食資源環境科学	生産地盤環境学	生物生産の場及び農業関連構造物の基礎としての地盤の有効利用、地盤を構成する土の物理化学的性質や粘土鉱物学的性質などに関する教育と研究を行う。
	浅海干潟環境学	浅海干潟域における生態環境の保全と物質循環について教育・研究を行う。
	水利環境保全学	農業農村地域における水資源と水環境の問題を利水の面からとらえ、水を有効に利用するための計画、管理及び制御と水環境の保全について教育・研究する。
	灌 漑 科 学	農地レベルから広域スケールにおける農業用水管理手法の高度化と持続可能な農村環境の保全および創出について教育と研究を行う。
	地 域 環 境 学	農業農村地域の環境保全技術ならびに地域資源の農業への活用技術について教育・研究を行う。
	生産環境化学	環境中に存在する”匂い（におい）”という化学物質を分析化学的・官能的に解析することで、生産環境における問題解決を目指す。
	海 洋 環 境 学	フィールド調査・データ解析・数値モデルによって、沿岸海域・エスチュアリーにおける環境変動・水産資源の保全に関する研究・教育を行う。
	農業生産機械学	機械工学・先端技術・ICT（情報通信技術）の利用を通じて、農業生産・農産物加工に必要な機械の高性能化とエネルギー利用効率の向上、農業における労働負担の軽減を目標とした教育と研究を行う。
	施設農業生産学	農業生産性向上のための施設化及び装置化技術の開発・利用について教育・研究を行う。
	環境土壌科学	最適な土環境維持のための土中の水分・溶質移動の測定・予測手法などを利用して、農地保全に関わる土壌科学について教育・研究を行う。
	微細藻類バイオマス 利 用 学	微細藻類を研究材料として、新しい産業創生を目指した基礎研究を行う。佐賀市に生息する微細藻類の多様性調査、微細藻類の培養技術開発、微細藻類の有効成分の分析などを行う。

コース	教育研究分野	分 野 の 内 容
生命機能科学	機 能 高 分 子 化 学	新規なバイオ分析法並びにバイオ材料の開発について教育・研究を行う。
	応 用 微 生 物 学	微生物機能の解明有効利用及び有用物質生産について教育・研究を行う。
	水 圏 生 命 科 学	水圏動物の代謝応答の解明や利活用に向けた教育・研究を行う。
	応 用 藻 類 学	海藻・植物プランクトンの生理応答や生理機能の解明及び有効利用に関する教育と研究を行う。
	生 物 資 源 利 用 学	食品の加工技術および品質低下防止技術の開発、未利用資源の活用技術の開発に関する教育と研究を行う。
	食 糧 安 全 学	食品素材の構造研究を基にして、それらの機能性、有効利用ならびに品質評価、安全性に関する教育・研究を行う。
	食 品 栄 養 化 学	①食品の栄養価値及び食品の栄養生理機能の解明 ②脂質・リポタンパク質の代謝調節
	食 品 機 能 開 発 学	①植物由来成分の機能性評価 ②機能性脂質による生活習慣病の予防・改善
	分 子 生 命 科 学	有用蛋白質・酵素の機能-構造解析による産業・創薬分野への応用利用について教育・研究を行う。
	食 品 化 学	化学に基づいて、食品に関する教育と研究を行う。主な研究は、①糖質分解酵素の同定とその食品への応用、②ゲノム科学知見を活かした食品化学研究への応用などである。
国際・地域マネジメント	食 農 ビ ジ ネ ス 開 発 学	食料・農業の生産、加工、流通にかかわる諸問題を農業経済学・農業経営学的に調査研究する。農業経営主体の外部環境変化への適応の過程と現状、環境保全的かつ収益的なファームシステム構築、農業構造の変化や農産物市場と農業要素市場の実態に関する分析・検討などを行い、持続可能な農業開発について提案する。
	地 域 資 源 学	地域資源の適正保全と循環的利用を生態人類学的・人文地理学的に調査研究する。地域資源（生物資源・人的資源・文化的資源）の多様性と伝統的利用形態や生計維持戦略の解明、農地・水・森林資源開発の諸問題や土地利用システムを究明し、多様な動植物相利用、伝統的技術・知恵の伝承性、風土性の現代的意味を再考察し地域資源持続的利用を検討する。
	地 域 社 会 開 発 学	日本や途上国の地域社会の環境問題や生活問題を社会学・民俗学的に調査研究する。地域社会の価値や技術、環境管理システムや環境政策のあり方などを検討することで、環境変化に対する住民及び地域社会の対応と変化を明らかにし、地域社会の持続可能な開発のあり方を提案する。

Ⅶ 鹿児島大学大学院連合農学研究科（博士課程）について

鹿児島大学大学院連合農学研究科は、鹿児島大学農学部・水産学部、佐賀大学農学部及び琉球大学農学部で構成される農水産学系の独立博士課程大学院(修業年限3年)です。

各構成大学の教員組織や研究設備を連合して、博士課程の教育研究体制が確立されています。受験資格は修士課程の修了者(2026年3月修了見込みの者を含みます。)及びこれと同等の学力を有すると認められる者です。受験者は、構成大学の教員の中から主指導教員についての希望を申し出ることができ、入学すると主指導教員が所属する大学で研究します。学生1人に主指導教員1人及び副指導教員2人がついて研究指導が行われます。

鹿児島大学大学院連合農学研究科に在籍(2025年4月1日現在)している学生は117名で、そのうち32名(日本人学生16名及び外国人留学生16名)が佐賀大学の主指導教員のもとで研究指導を受けています。

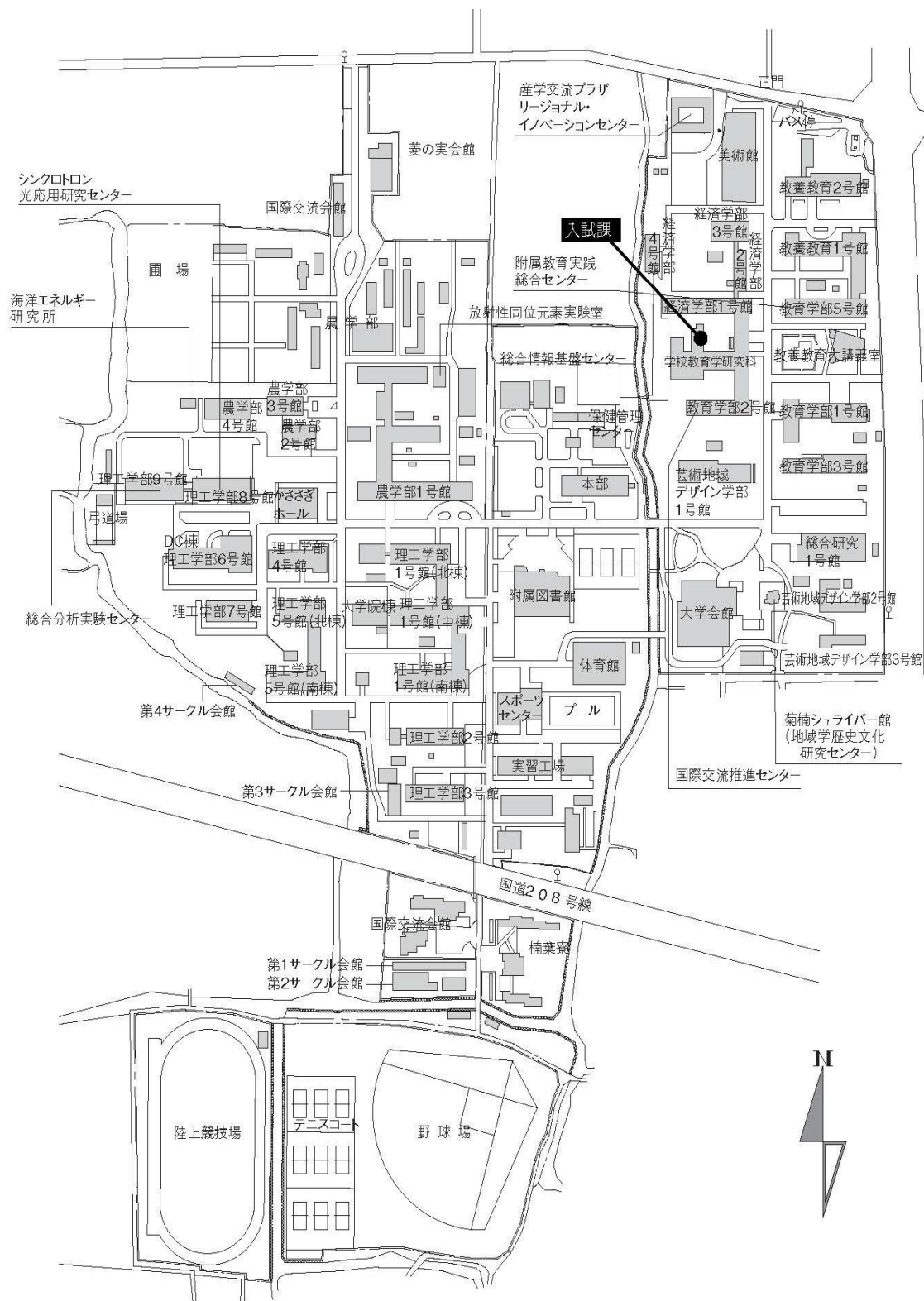
このことに関する照会は、佐賀大学学務部教務課農学部教務担当(〒840-8502 佐賀市本庄町1番地、TEL0952-28-8717)又は鹿児島大学大学院連合農学研究科事務室(〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-24、TEL099-285-8795)に申し出て下さい。

鹿児島大学大学院連合農学研究科の専攻及び領域

専攻	領域
農水生命科学	農 水 圏 生 産 科 学
	生 物 資 源 生 命 科 学
	地 球 環 境 共 生 科 学

VIII 佐賀大学配置図及び佐賀大学アクセスマップ

佐賀大学（本庄キャンパス）配置図



佐賀大学アクセスマップ



佐賀大学本庄キャンパス

佐賀駅バスセンターからバスで約15分
「4番のりば」から市営バス4番佐賀女子短大・高校行、市営バス11番西与賀行、又は12番東与賀行、63番佐賀女子短大・高校前行で「佐賀大学前」下車

佐賀大学鍋島キャンパス

佐賀駅バスセンターからバスで約25分
「2番のりば」から市営バス50番、又は51番で「佐賀大学病院」下車



佐賀大学有田キャンパス

JR佐世保線有田駅下車…徒歩15分
波佐見有田インターチェンジから車で5分



お問合せ先

佐賀大学 学務部入試課

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 TEL.0952-28-8178

✉ contact@mail.admin.saga-u.ac.jp

https://www.saga-u.ac.jp

Address

- 本庄キャンパス：〒840-8502 佐賀市本庄町1番地
- 鍋島キャンパス：〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1-1
- 有田キャンパス：〒844-0013 西松浦郡有田町大野乙2 4 4 1-1

佐賀大学

受験生応援サイト

チャンネル佐賀大学

佐賀大Press



佐賀大学 学務部 入試課

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL 0952-28-8178

ホームページ <https://www.saga-u.ac.jp/>

e-mail contact@mail.admin.saga-u.ac.jp